



2019年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月11日

上場会社名 応用地質株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9755 URL https://www.oyo.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 成田 賢
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 平嶋 優一 (TEL) 03 (5577) 4501
 事務本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日~2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	36,998	12.8	1,739	113.9	2,134	90.7	1,374	89.6
2018年12月期第3四半期	32,813	△0.6	813	456.9	1,119	109.7	725	77.3

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 1,193百万円(128.9%) 2018年12月期第3四半期 521百万円(44.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	52.64	—
2018年12月期第3四半期	27.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年12月期第3四半期	82,581	66,712	80.4
2018年12月期	80,418	66,013	81.9

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 66,364百万円 2018年12月期 65,881百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	14.00	—	14.00	28.00
2019年12月期	—	14.00	—	—	—
2019年12月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日~2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,000	17.2	2,200	48.5	2,700	41.1	1,600	98.9	61.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	27,582,573株	2018年12月期	27,582,573株
② 期末自己株式数	2019年12月期3Q	1,468,665株	2018年12月期	1,469,573株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	26,113,038株	2018年12月期3Q	26,206,199株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

<当第3四半期連結累計期間の経営成績>

当第3四半期連結累計期間の日本経済は、建設投資やインフラ投資を中心に底堅い動きや消費税増税前の駆け込み需要等が見られたものの、中国経済の成長停滞に伴う外需低迷や日韓関係悪化によるインバウンド需要の減少も見られ、不透明感が増しつつあります。世界経済は、中国経済の緩やかな減速が予想されており、今後の米中経済摩擦の行方によっては、景気全体の下振れ圧力が強まる恐れが懸念されています。

当社グループを取り巻く市場環境としては、国内においては洋上風力発電など再生可能エネルギー市場の急速な成長、多発する自然災害とその復旧事業への対応や大型の国土強靱化予算に伴う防災・減災事業の拡大などが、グループの大きな市場機会となっています。海外においては、アジアを中心としたインフラ・メンテナンス市場の成長や、資源関連市場の持ち直しなどが、グループの成長の追い風となる一方で、米中貿易摩擦による米国企業の輸出の減速傾向や、世界経済の先行き懸念を背景とした原油・資源市場の軟調推移の継続が引き続きリスクとして懸念されています。

このような中での当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、受注高は473億6千8百万円（前年同期比129.4%、今期から連結に加わったシンガポール企業の受注高には前期末の受注残高を含む）となり、売上高は369億9千8百万円（同112.8%）、営業利益は17億3千9百万円（同213.9%）と増収増益となりました。また、経常利益は21億3千4百万円（同190.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は13億7千4百万円（同189.6%）となっております。

当社グループの事業セグメント別の業績は、以下のとおりです。

①インフラ・メンテナンス事業

インフラ関連機器事業を行う米国子会社が中国経済の緩やかな減速や米中貿易摩擦の影響を受けたものの、福島復興関連事業やシンガポールのインフラ需要の取り込みにより、受注高は205億9千2百万円（前年同期比135.1%、今期から連結に加わったシンガポール企業の受注高には前期末の受注残高を含む）となりました。売上高は、148億1千6百万円（同102.9%）、営業利益も9億4千4百万円（同132.0%）と増収増益となりました。

②防災・減災事業

受注高は、引き続き政府の国土強靱化計画推進に伴う防災・減災関連事業の好調を背景に103億6千6百万円（前年同期比134.3%）となりました。売上高は79億3千3百万円（同130.1%）、営業利益は4億2百万円（同185.9%）と増収増益となりました。

③環境事業

受注高は、環境アセスメント業務、アスベスト対策サービス、福島環境再生支援事業などが引き続き堅調であり、76億5千8百万円（前年同期比102.5%）となりました。売上高は67億1千万円（同110.1%）、営業利益は6億1千4百万円（同191.9%）と増収増益となりました。

④資源・エネルギー事業

海外の原油・資源探査市場が緩やかな回復基調にあること、また、国内の洋上風力関連事業が引き続き好調に推移していることを背景に、受注高は87億5千万円（前年同期比141.4%）となりました。この結果、売上高は75億3千8百万円（同121.1%）となりました。損益は、2億4千万円の営業損失（前年同期は4億3千9百万円の営業損失）を計上しましたが、第3四半期（7月～10月）は、洋上風力関連業務の売上高伸長と海底探査業務の収益改善により黒字化し、営業損失額は縮小しました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績の見通し

2019年12月期通期連結業績予想につきましては、本日開示の「業績予想の修正に関するお知らせ」のとおり、2019年2月13日付で発表した「2018年12月期決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した業績予想を、以下のとおり修正いたしました。

<2019年12月期連結業績予想（2019年1月1日～2019年12月31日）>

売上高：530億円、営業利益：22億円、経常利益：27億円、親会社株主に帰属する当期純利益：16億円

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,536	29,846
受取手形及び売掛金	1,791	1,990
完成業務未収入金	19,518	16,479
リース債権及びリース投資資産	2,440	2,978
有価証券	899	1,199
未成業務支出金	2,395	2,399
商品及び製品	755	763
仕掛品	651	878
原材料及び貯蔵品	1,859	1,821
その他	1,757	971
貸倒引当金	△19	△16
流動資産合計	57,585	59,311
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,838	4,726
土地	6,251	6,247
その他（純額）	1,478	1,791
有形固定資産合計	12,568	12,766
無形固定資産		
のれん	142	222
その他	1,222	1,225
無形固定資産合計	1,364	1,447
投資その他の資産		
投資有価証券	6,017	6,165
退職給付に係る資産	1,306	1,279
その他	2,098	2,080
貸倒引当金	△523	△469
投資その他の資産合計	8,898	9,056
固定資産合計	22,832	23,270
資産合計	80,418	82,581

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	720	748
業務未払金	1,433	1,844
未払法人税等	421	692
製品保証引当金	136	121
賞与引当金	137	898
受注損失引当金	161	168
その他	6,739	6,464
流動負債合計	9,750	10,937
固定負債		
退職給付に係る負債	1,940	1,879
株式給付引当金	57	53
その他	2,656	2,997
固定負債合計	4,654	4,931
負債合計	14,404	15,869
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,174	16,174
資本剰余金	15,077	15,077
利益剰余金	37,458	38,229
自己株式	△1,828	△1,826
株主資本合計	66,881	67,654
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,248	1,528
土地再評価差額金	△2,594	△2,732
為替換算調整勘定	305	△134
退職給付に係る調整累計額	41	49
その他の包括利益累計額合計	△1,000	△1,289
非支配株主持分	131	347
純資産合計	66,013	66,712
負債純資産合計	80,418	82,581

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年1月1日 至2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年9月30日)
売上高	32,813	36,998
売上原価	22,559	25,601
売上総利益	10,254	11,396
販売費及び一般管理費	9,440	9,656
営業利益	813	1,739
営業外収益		
受取利息	118	143
受取配当金	56	65
持分法による投資利益	31	6
不動産賃貸料	40	40
貸倒引当金戻入額	59	59
受取保険金及び保険配当金	101	82
固定資産売却益	9	7
その他	25	48
営業外収益合計	442	453
営業外費用		
支払利息	2	4
為替差損	—	19
不動産賃貸原価	12	10
固定資産除却損	120	1
その他	1	23
営業外費用合計	136	59
経常利益	1,119	2,134
特別利益		
投資有価証券売却益	9	14
特別利益合計	9	14
特別損失		
投資有価証券売却損	—	53
特別損失合計	—	53
税金等調整前四半期純利益	1,128	2,095
法人税等	415	744
四半期純利益	712	1,350
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△12	△24
親会社株主に帰属する四半期純利益	725	1,374

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	712	1,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△162	280
為替換算調整勘定	62	△445
退職給付に係る調整額	△92	7
その他の包括利益合計	△191	△157
四半期包括利益	521	1,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	533	1,222
非支配株主に係る四半期包括利益	△12	△29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社においては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じる方法により計算しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	インフラ・ メンテナンス 事業	防災・減災 事業	環境事業	資源・ エネルギー 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,396	6,098	6,094	6,224	32,813	—	32,813
セグメント間の内部 売上高又は振替高	44	25	3	—	73	△73	—
計	14,441	6,124	6,097	6,224	32,886	△73	32,813
セグメント利益 又は損失(△)	715	216	320	△439	812	0	813

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額0百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	インフラ・ メンテナンス 事業	防災・減災 事業	環境事業	資源・ エネルギー 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,816	7,933	6,710	7,538	36,998	—	36,998
セグメント間の内部 売上高又は振替高	396	70	26	16	508	△508	—
計	15,212	8,003	6,736	7,554	37,507	△508	36,998
セグメント利益 又は損失(△)	944	402	614	△240	1,721	18	1,739

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額18百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「インフラ・メンテナンス事業」セグメントにおいて、Fong Consult Pte. Ltd.社、FC Inspection Pte. Ltd.社の株式を取得し、子会社化しております。当該事象によるのれんの増加額は、109百万円であります。